

主催 | 武蔵野音楽大学同窓会千葉県支部

2017年 **7月15日** 日 **18:30 開場**
19:00 開演

全席自由 | 般 2,000円 学生 1,000円

第2回 新作 歌曲 の 夕べ

越川 信生 | Nobuo KOSHIKAWA

《草野心平の詩による2つの歌》(2017作曲|初演)

照屋篤紀(Tenor) 新戸萌(Piano)

宋 瑞炫 | Sohyon SON

《春の貢》～竹久夢二の詩による～(2017作曲|初演)

嘉松芳樹(Tenor) 原田園美(Piano)

野代 祐樹 | Yuki NOSHIRO

《無意味な夢に微睡みて》～自作の詩による～(2017作曲|初演)

栗原恵子(Soprano) 原田園美(Piano)

成宮 北斗 | Hokuto NARUMIYA

《迷い鳥たち》

～ラビンドラナート・タゴールの詩による～(2017作曲|初演)

嘉松芳樹(Tenor) 原田園美(Piano)

佐山 紀彦 | Norihiko SAYAMA

《自作の詩による歌曲2》(2017作曲|初演)

栗原辰和(Baritone) 佐山紀彦(Piano)

坂 幸也 | Koya BAN

《自作の詩による歌曲》(2017作曲|初演)

嘉松芳樹(Tenor) 原田園美(Piano)

※本番の出演者、曲目、演奏順は変更になる場合があります。



Tenor

照屋篤紀



Tenor

嘉松芳樹



Soprano

栗原恵子



Baritone

栗原辰和



Piano

新戸萌



Piano

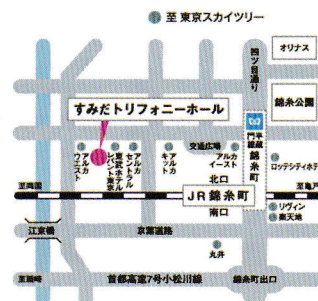
原田園美

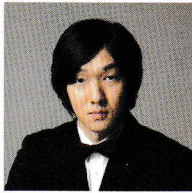
すみだトリフォニーホール小ホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分 東京スカイツリータウン®より徒歩20分

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3 ☎03-5608-5400

チケット取り扱い | 武蔵野音楽大学同窓会千葉県支部作曲家連盟
お問い合わせ | musashino.chiba.composers@gmail.com





越川 信生 | Nobuo KOSHIKAWA

武蔵野音楽大学作曲学科卒業。同大学院音楽研究科作曲専攻修了。これまでに作曲を明石潤祐、渡部賢士、ピアノを井上幸恵、仲田まり子、指揮を北原幸男、前田敦の各氏に師事。

在学中に《ファンファーレ》が学内で選出され、第4回音楽大学オーケストラフェスティバルにて初演。武蔵野音楽大学同窓会千葉県支部第42回新人演奏会にて《コントラバスとマリimbaのための五楽章》を発表。また、主要作品に《健陀多と室内楽のための「蜘蛛の糸」》がある。



宋 瑞炫 | Sohyon SON

韓国出身。武蔵野音楽大学作曲学科卒業。同大学院修士課程作曲専攻修了。平成26、28年度福井直秋記念奨学金第3種奨学生。平成26年度武蔵野音楽大学卒業演奏会出演。作曲を坂幸也、オルガンは藤枝照久、ピアノをChun, Yung hae、松本文、富山紀美子の各氏に師事。主要作品に《String Quartet》(2014)、《for 2 Harps, Flute, Clarinet and String Quartet》(2015)、《3 pieces for Orchestra》(2015)、《紅蔦 竹久夢二の詩による歌曲》(2016)がある。現在、武蔵野音楽大学大学院博士後期課程作曲専攻1年次在学中。



野代 祐樹 | Yuki NOSHIRO

武蔵野音楽大学音楽学部作曲学科卒業、同大学院音楽研究科博士前期課程作曲専攻を修了。在学中、平成17・18年度福井直秋記念奨学生に選出される。平成18年度武蔵野音楽大学卒業演奏会に出演。武蔵野音楽大学同窓会千葉県支部第36回新人演奏会に出演。作曲を坂幸也、ピアノを服部真紀子の各氏に師事。エレクトロニクスを使った音楽の作曲家集団“technologia”の音響オペレートを担当している。最近の作品に《マリimbaのための 夜想曲》、《フルート、ピアノとライブ・エレクトロニクスのための三章 一能「賀茂」によせて》などがある。「第1回 新作歌曲の夕べ」では、テノールとピアノのための《石見相聞歌 一柿本人麻呂の詠める歌による》を出品。



成宮 北斗 | Hokuto NARUMIYA

武蔵野音楽大学大学院博士後期課程作曲専攻修了。博士(音楽)。作曲を坂幸也、ピアノを坂京子、音楽学を檜崎洋子の各氏に師事。平成21年度福井直秋記念奨学生。現在、武蔵野音楽大学、同付属高等学校、および弘前大学非常勤講師。先端芸術音楽創作学会会員、日本音楽学会会員。

エレクトロニクスを使った音楽の作曲家集団“technologia”に所属し、音楽とテクノロジーの新たな可能性を追求している。また近年は植物を中心とする自然の事物から着想を得て、そのメカニズムやデータを作品に適応する研究を行っている。

主要作品に《Dislocation — for five instruments》(2010)、《Eritrichium nipponicum Makino — for piano, live-video & live-electronics》(2013)があり、主著に博士論文「ブライアン・ファニホウにおける架空のポリフォニー 8曲の独奏曲の分析を通して」(2010)、「植物のメカニズムに基づく作曲法 フィボナッチ数列、L-system、生体電位」(2014)がある。「第1回 新作歌曲の夕べ」では、テノールとピアノのための《薔薇連祷 ～レミ・ド・グールモンの詩による～》を出品。

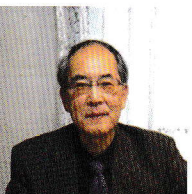


佐山 紀彦 | Norihiko SAYAMA

武蔵野音楽大学作曲学科卒業、同大学院修士課程修了。作曲・音楽理論を飯島英嗣先生に師事。武蔵野音楽大学研究員、東京コンセルヴァトアール尚美非常勤講師を経て、現在、武蔵野音楽大学、同附属高校、同附属多摩音楽教室非常勤講師。

ピアニスト宮川渉氏とのピアノ・デュオを中心とした『Concert』やEKSTERSONOREN、Le Phénix、マグナムの会、SANAKASなどの作曲家の会で作品を発表している。1994年環境庁「音環境モデル事業 ねりま・いい音の街」(練馬区主催)に参加し作品を提供、その試みはNHK「おはよう日本」、テレビ東京、ケーブルTVねりまで紹介される。光藍社主催のオペラ公演において「初心者のためのオペラ講座」の講師を務めるなどクラシック音楽の普及に携わる。日本作曲家協議会正会員。全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)正会員。日本クラシック音楽コンクールピアノ部門審査員。

主要作品に遙かなる時の中へ(Cl., Piano)、Fluid of Consciousness(Tromb., Cb., Prec.)、魂の叫び(Vc.solo)、弦楽四重奏曲があり、歌曲作品にE. ディキンソンの詩による歌曲、新藤涼子の詩による歌曲などがある。



坂 幸也 | Koya BAN

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修士課程修了後、同大学研究員となる。約60回に及ぶ自作品の発表を通して、自己表現の独自性を追求した。特にオーケストラ作品《綺羅音舞》、《交響曲第1番》にて高い評価を得る。さらに雅楽曲《幽玄夢舞》、琵琶曲《神響の標に》等、日本伝統楽器と洋楽とのミステリアスな遭遇を意図した作品を多く発表、文化庁芸術祭参加作品としても好評を博した。また、門下には、日本音楽コンクール作曲部門、現代音楽協会作曲新人賞、武満徹作曲賞等の主要コンクールでファイナリストとなった者、武蔵野音楽大学大学院後期博士課程を経て、「博士音楽」の学位を取得した者等、多くの若い有能な人材が育っている。現在、武蔵野音楽大学、同大学院教授。

主要作品は《綺羅音舞 — Kirano Otomai》(1978)、《交響曲第1番》(1981)、ピアノによる《時の流れの終焉、そして幻想の中でI》(1981)、琵琶とフルートによる《時の流れの終焉、そして幻想の中でII》(1982)、雅楽による《幽玄夢舞II — Yugenno Yumenomai》(1984)、琵琶による《神響の標にIII》(1985)、サクソフォーン4重奏による《ペガサス・ストリート》(1986)、バスーンとピアノによる《時のMAGOUTA》(1986)、《組曲モアイ》(2001)、他多数。